

第5学年2組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成27年6月10日(水) 5校時 教室

2. 議題 「5年2組ピカッと集会をしよう」

3. 議題について

学級目標：思いやりのある子 考えて行動する子
笑顔大切にできる子 リーダーとして頑張る子

(1) 児童の実態

学級全体で何かに取り組むことが好きな児童が多く、自分たちで学級を楽しくしていこうという意識が高い。係活動に意欲的に取り組んでいて、朝の会や帰りの会で係からの発表も充実している。また、周囲に気を配れる児童が多く、腕を骨折している児童の生活面、学習面でのサポートを積極的に行っている。帰りの会では、「今日のキラッとさん」として授業や生活においてクラスのために貢献していた児童を紹介し合う時間を設けている。友だちのよいところを認め合う雰囲気は少しずつ高まっている。よさを活かすとともに、高学年として必要な自主的に判断し行動する力をさらに伸ばしていきたいと考え、学級目標は「思いやりのある子 考えて行動する子 笑顔大切にできる子 リーダーとして頑張る子」とした。

運動会を終え、各種目や係の活動に意欲的な6年生と一緒に取り組んだことで、「あんな6年生になりたい」「下級生のお手本になりたい」という気持ちをもった児童が多くいた。上級生に憧れ、リーダーとしての意識が芽生えてきているので、今後はそのためには何をすべきなのかを考えて行動することを強く意識させていきたい。

学級会については、昨年度までの経験をもとに、話し合いの流れを理解し、司会グループを中心に進めることが身に付いている。めあてを意識しながら発言をする児童が多いため、話し合いが大きく逸れることが少ない。意見をまとめていく時に、アイデアを出したり、相手の意見に合わせてたりして、折り合いをつけて決定しようとする姿が見られる。

第2回の学級会では、男女の仲をさらによくして運動会を迎えたいと、「5年2組フレンズ集会」が提案された。何をするかをアイデアシートに考えを書く時には、体を動かす遊びを考える児童が多かった。しかし、組体操の練習中にある児童が腕を骨折したことをきっかけに、話し合いではその児童のことも考えた上で、じゃんけん大会をすることにまとめ、集団決定された。「体を動かす遊びは〇〇さんの骨折が治ってからやろう」と相手を思いやって発言をする姿が見られた。

(2) 議題の選定

5月に行われた運動会は、どの児童にとっても達成感、充実感のあるものとなった。高学年として取り組んだ種目が成功した喜びや、自分たちが各係の中心となって運動会を進めたことで昨年度までにはない経験をすることができた。議題を集めていく中で、一人一人ががんばった運動会をふり返りたいという声があがった。毎日帰りの会で行っている「今日のキラッとさん」のように、運動会でのみんなの頑張りを認め合いたいという提案者の思いを受け止め、本議題を選定した。

(3) 学級会（話し合い）の様子

今回の話し合いは今まで児童が経験してきたみんなで遊ぶ活動の内容を決めたり、出し物集会の内容を考えたりするものとは異なるものであった。初めはどんな集会になるのかという不安を感じている児童もいたが、提案者の思いを聞く中で「認め合う集会」という共通の理解が生まれていった。柱1ではどんな方法で互いに認め合うかを話し合った。「手紙を書く」や「メダルを作る」などの意見が出た中で「一人一人が賞状を作って渡す」という意見にまとまった。柱2では集会を盛り上げる工夫について話し合った。「クラスで1つトロフィーを作る」「クラッカーを作る」「くす玉を作る」という意見が出たところで集会までの時間的な余裕がないため、工夫を絞るかどうかという議論になった。集会に前向きな児童の意見ですべての工夫が決定されたが、当日までに準備が間に合うか不安を感じている児童もいた。話し合いの中で不安を感じていた児童やあまり積極的に発言をしていなかった児童がこの準備期間と当日にどのような姿を見せるのか期待していきたい。

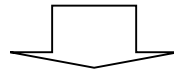
4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
役割意識をもち、自主的に準備や練習をしようとしている。 集会の内容や参加の仕方をふり返ろうとしている。	見通しをもって活動計画を立て、信頼し支え合って実践している。 集会のねらいに沿って創意工夫を活かしながら一生懸命活動している。	集会活動の意義や運営方法について理解している。 効率的な役割分担の仕方が分かっている。

5. テーマとのかかわり

テーマ： 夢や希望をもち、よりよい人間関係を築く特別活動

サブテーマ： ～期待感がふくらむ学級会をめざして～



高学年の目指す子ども像：

他者の考え方を受け止め、お互いのよさを理解し合い、高め合える行動がとれる子

教師の思い

運動会では、一人一人が自分のめあてに向かって真剣に取り組む姿や係の仕事に積極的な様子が見られた。今回の集会では、お互いの頑張っていた様子を発表し合い認め合うことで、来年の運動会へ向けての展望や今後の5年生としての様々な活動への意欲を高めるきっかけとしてほしいと考えている。この集会を終えることで、めあてをもって活動に取り組む大切さや学級内の友だちを認め合う望ましい人間関係の育成を図りたい。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)
5月23日(土)	議題ポストに「運動会をふり返る集 会がしたい」という意見が寄せられ る。	☆学級生活の充実と向上について関心をも ち、学級を楽しくしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6月1日(月) 休み時間	計画委員会を開く 提案者・司会グループと担任で、議 題の確認をし、学級会のめあてや役 割分担の計画を立てる。	○議題の内容を確認し、学級会に向けて統一 したイメージをもてるようにする。 ○役割を確認し合うことで、学級会の進め方 が理解できるようにする。 ☆学級会に向けて進んで準備をしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6月2日(火) 特活タイム	クラスに議題と提案理由、学級会の 柱を伝える。 議題に対するアンケートをとる。	○一人一人が自分の考えをもてるようにす るために、議題や提案理由を伝えておく。 ○学級会へのイメージがもてるように、話し 合いの柱を確認する。 ☆学級会のめあてと意見を考えている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6月2日(火) 休み時間	アンケートの集約をする。 「集める」段階の意見の精選をす る。	○提案理由に沿った意見かどうか確認する ことで、意見の精選の基準とする。 ○意見を分類整理することで、話し合う時にス ムーズになるようにする。
6月3日(水) 休み時間 放課後	提案者と司会グループと担任で学 級会の流れを話し合う。 役割分担に従って話し合いの進め方 を確認する。	○流れを確かめられるように学級会の場面 を一緒にイメージしていく。 ☆担任とともに学級会の進め方を考えてい る。(集団の一員としての思考・判断・実践)
6月4日(木) 朝	集めた意見をクラスに提示し、共通 理解をはかる。	○整理した意見の中で、今回取り上げられな かった意見には説明をする。
6月4日(木) 学級活動	学級会をする。	○話し合いがそれてきた時には、めあてに沿っ て考えるよう全体に伝える。 ☆友だちの意見を聞き、それを受けて意見をつ なげている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月4日(木) ～9日(火) 特活タイム 休み時間 放課後	準備や練習をする。	○必要な物や使いそうな物を用意しておく。 ○活動が工夫できるように助言をする。 ☆決定したことについて、自主的に準備や練 習を実践している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

①ねらい お互いに認め合うということを意識して活動している。

②本時の視点 ねらいを意識して集会に取り組む姿が見られたか。

③活動計画

児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 認め合い</p> <p>○担当になった児童の運動会までの頑張りや当日の姿を称賛し、賞状を渡す。</p> <p>○トロフィー、クラッカー、くす玉を使って集会を盛り上げる。</p> <p>3. ふり返り</p> <p>4. 先生の話</p> <p>5. おわりの言葉</p>	<p>○集会がスムーズに進むように、自分たちの役割とめあてがわかって取り組めるように確認しておく。</p> <p>☆自分の役割やめあてを理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)</p> <p>☆話合いで決定したことを受けて、ねらいに沿って活動しようとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○「楽しかった」のような感想にならないよう、めあてに沿っていたか、次に活かせることは何かを考えた感想発表になるよう声をかける。</p> <p>☆当日や準備の姿勢をふり返ろうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p> <p>○実践の中で分かち合いが見られたところや、準備の段階での様子を伝え、次への意欲が高まるようにする。</p>

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
<p>6月11日(木) 朝の会</p>	<p>ふり返りカードを書く。</p>	<p>○集会のよかったところと次時の活動に活かせる内容をふり返るよう伝える。</p> <p>☆学級全体での活動の仕方、自分や友だちの態度について互いにふり返り、次の活動に活かそうとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>